

Ono's Desk

『COC』

文科省が Center of Community (COC) 構想を謳っている。「大学が、地域の課題を直視して解決にあたる取組を支援し、大学の地域貢献に対する意識を高め、その教育研究機能の強化を図る」ことが目標であるとした。本学はかなり地域と連携しているつもりであるが、さらなる企画を考えていきたい。その一つに災害時の「二次的保健医療避難所」構想を考え、現在プロジェクトチームで具体案を検討してもらっている。ところで地域貢献とはなにか。貢献とはいささか上から目線の表現である。地域と連携して地域の活性化や安全・安心などに結びつく共同作業と理解したい。学生にとっては世間との接点であり、コミュニケーション技能を磨くすばらしい機会と捉えてほしい。

*

*

12月の主な行事予定

12月1日(土)	助産別科一般入試
12月6日(木)	杏友会忘年会(熊本ホテルキャッスル)
12月7日(金)	助産別科一般入試合格発表、賞与支給式
12月9日(日)	チャレンジ熊保大! 一般入試特別講座
12月12日(水)	京谷和幸公開講演会(県立劇場)
12月26日(水)	仕事納め(11時~学長挨拶)
12月27日(木)	7月8日(日) 進学ガイダンスセミナーの振替休日
12月28日(金)	11月17日(土) 一般推薦入試の振替休日
12月29日(土)	年末年始休暇
~1月3日(木)	
1月4日(金)	仕事始め(11時~理事長挨拶)

過去最高を大きく上回る 355 名 (昨年 203 名)

12月9日(日)にチャレンジ熊保大!「一般入試特別講座」を開催し、大手大学予備校・壺溪塾の講師が、本学の一般入試対策として、受験勉強の指針を教授しました。詳細については、次回のニュースレターでご紹介します。当日対応して下さった教職員の方々は、ご協力ありがとうございました。

杏友会忘年会

12月6日(木)に熊本ホテルキャッスルにおいて、杏友会忘年会を開催しました。

*

作業療法学専攻名称変更について

平成 25 年 4 月からリハビリテーション学科「作業療法学専攻」が「生活機能療法学専攻」に改称します。改称に伴い、より多くの高校生が作業療法士という職業に興味を持ち、本学への受験を希望することを期待します!

熊本保健科学大学
2013年4月より
リハビリテーション学科 作業療法学専攻
名称変更
生活機能療法学専攻

多くの卒業生が皆さんの活躍に期待しています。
よりよい職業を目指してがんばりましょう!

専攻長 木村 伊津子
学科長 飯山 孝一

変更の理由 1 「作業療法」の対象が拡大している
近年、「作業療法」の活躍の場が拡大しています。「作業療法」はひとの生活に必要な機能を治療し、「希望を現実のものにする仕事」です。消極的な意味の労働のイメージを持たれることのある「作業」から、積極的に仕事の内容をより適切に表現している「生活機能療法学専攻」へ名称変更します。この名称は、リハビリテーション・福祉の領域で共通言語となった国際生活機能分類を参考にしています。また、これに伴い、カリキュラム内容も一部拡大・改修を予定しています。

変更の理由 2 「作業」という言葉に含まれるイメージ
作業療法の生活機能分類が全国的に統一されています。これは、「作業」という名称から受け取るイメージが影響していることと関係が一つであると考えられます。保健医療分野で重要な作業療法を、高校生をはじめ一般の方々に、より適切に認知していただくことで、医療従事者からの求人が多く社会的にも一次の強い作業療法士の門戸を広げていきたいと考えています。

専攻名変更に伴う主要点

- 1 専攻名は、「作業療法」と「生活機能療法学」を併記表示いたします。
- 2 専攻名の関係については、「Occupational Therapy」を併記表示いたします。
- 3 「生活機能療法学」は、「ひとの生活に必要となる機能を治療する仕事」であることを強調いたします。
- 4 「リハビリテーション」領域の専門性や「福祉」としての活動の場を「生活機能療法学」として強調いたします。
- 5 「リハビリテーション」学科生活機能療法学専攻は、本学が最先端を目指す医療・福祉・作業療法・作業療法士として、本学の基本理念「健康」「福祉」「就業」のすべてを兼ね備えた専攻であることを強調いたします。

熊本保健科学大学 TEL 096-275-2111



出席者は 129 名でとても多く、新入職員による余興も大変賑わいました。



熊保大奨学制度について

本学の奨学制度が新しくなりました。各学年 16 名（医学検査学科 5 名、看護学科 5 名、リハビリテーション学科 6 名）の学生に対して月額 5 万円の奨学金を給付する制度です。本学の一般入試を受験することが条件です。一般入試の結果、及び家庭の状況をもとにした書類審査の後、面接審査を行い、熊保大奨学生推薦委員会が決定します。その他の詳細については、学務課にお問い合わせ下さい。



公開講演会

12月12日（水）車椅子バスケットで有名な京谷和幸講演会を開催します。演題は、「夢を持つことの大切さ」です。講演会実施におきましては、皆様のご協力をお願いします。

榊原記念病院

11月30日（金）に榊原記念病院小児心臓外科の高橋幸宏先生が「小児心臓手術」という演題で看護学科2年生に講演をして下さいました。学生達も貴重なお話を聴くことができ、講義に集中している様子でした。



地域連携

本学では、地域連携委員会を中心に地域連携・地域貢献活動に取り組んでいますが、秋は特にイベントが目白押しでした。11月11日（日）に予定しておりました毎年恒例の「井芹川大清掃」に関しては、あいにくの雨の為、中止になりました。その他の最近の活動をいくつかまとめてご紹介します。今後も本学の特色を活かした地域の方々との交流を深めて行きたいと思っております。

城北小学校区ふれあいの日

9月29日（土）に城北小学校区秋祭り「ふれあいの日」に参加しました。医学検査学科は血流観察、骨密度測定等を行い、看護学科は血圧測定、赤ちゃん抱っこを行いました。3時間という短時間でしたが、合計で224名の児童や保護者の方々が参加して下さいました。



ふれあいフェスタ in ほくぶ

10月27日（土）・28日（日）に「ふれあいフェスタ in ほくぶ」が北部体育館で開催され、本学も参加しました。医学検査学科・看護学科による健康測定、他、リハビリテーション学科はスライム作りやボールプールを提供し、幅広い年齢の方々と交流することができました。



フードパルフェスタ 2012

11月3日（土）・4日（日）にフードパル熊本主催の「フードパルフェスタ 2012」に参加しました。医学検査学科は骨密度・血管年齢・体成分分析等、看護学科は血圧測定の健康測定をし、過去最高となる約800名の方々の測定をしました。



西里小学校「ひびら祭り」

11月11日（日）に、西里小学校で開催された「ひびら祭り」に参加しました。看護学科による赤ちゃん抱っこや、リハビリテーション学科によるコースター作り子供たちも夢中になっていました。



西里地区グラウンドゴルフ大会 及び健康測定会

11月23日（金：祝日）に、本学で「西里地区のグラウンドゴルフと健康度チェック」を実施しました。グラウンドゴルフに100名以上の方々が、健康度チェックに50名の方々が参加して下さいました。



第4回市民健康生活フォーラム

11月23日（金：祝日）に崇城大学で、「葉草を知る会」講演会&グラウンドゴルフ大会が行われました。これは熊本機能病院・崇城大学・本学が共同で取り組んでいる市民の健康生活を考える会（MUSASHI会）が年1回行っている地域貢献の取り組みで、今年は「葉草」に焦点をあてて開催されました。健康・体力測定や、グラウンドゴルフを通じて、池田・花園地区の方々との良い交流に繋がりました。

